



## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	エイキソーシャルワーク	事業所番号	1610101550
住所	富山市新庄本町三丁目1-13	管理者名	木村 貴之
電話番号	076-452-3899	対象年度	令和3年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>場所 富山市立新庄北小学校</p> <p>日時 令和3年11月1日</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要 経営母体は有限会社エイキ解体業を営む有限会社エイキ。こちらに集まる廃棄物を「再生アート」として表現・再利用し、企業の取り組みと環境問題を広報する活動をしている。</p> <p>利用者数 : 3名（ブログや動画、作品作成の広報担当）</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>9:00 作品等搬入・先生方とあいさつ</p> <p>9:25 講演開始 (講師：黒田清 本名:黒川清志)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リサイクルのしくみについて</li> <li>・ 畳の中のスタイロフォームの再利用について</li> <li>・ 再生アートについて</li> </ul> <p>10:00 質疑応答 実際に作品をみてもらう時間</p> <p>10:20 終了</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>・ SDGs などの環境学習に取り組んでいる小学4年生を対象に、解体の事や、廃棄物を使って作成した「再生アート」を実際に手に取って見てもらう。 「環境問題」と聞くとつい難しくとらえがちだが、アート作品をとおして環境について考え、自由に表現している人がいることを知ってもらう。楽しくて身近なものなのだ、子どもたちの視点を替える機会にしてみたい。</p>	<p>活動の様子の写真、成果物の写真、活動内容の追加コメントは、今回連携をさせて頂いた、富山市立新庄北小学校、当事業所のホームページやSNS・Instagramに掲載。</p>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>・ 解体業の仕事や廃棄物処理に関する取り組みについて、モニターで図を提示し指しながら説明したので、今の話がどの箇所の説明なのか分かりやすく伝えることができた。また、生徒にとって身近な畳やプラモデル（ランナー）を例にした講演内容で身近に感じてくれたようだ。家庭でのゴミ出しの際に食品ロスについて生徒が家族に注意するのだが、ギクシャクするだけなので「楽しみながら環境問題を考える方が良い」と生徒さんは思われたようだ。</p> <p>・ 再生アート作品・ランナー作品を見て楽しむことで、環境問題への関心を深める良いきっかけとなったようだ。</p>	
<p>&lt;課題&gt;</p> <p>・ 時間に余裕があれば、実際に生徒がアートを作成する時間があればよかった。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

<p>この度は、お忙しい中、4年生の出前授業を快く引き受けてくださり、本当にありがとうございました。解体業の仕事や廃棄物の処理に関する取り組み、再生アートに対する思いについて教えていただいたことで、子どもたちは環境問題を解決するために身近で出来る事を探す大切さや、自分自身も楽しくできる活動でなければ長続きしないことに気づくことができました。その後の学習では、新しい見方で環境問題について考え、学習を進めています。子どもたちからの質問にも丁寧に答えてくださりありがとうございました。</p> <p>今後、ますますのご活躍をお祈りしております。ありがとうございました。</p>			
連携先企業名	富山市立新庄北小学校	担当者名	主任 舟川先生